

第 41 回日本薬剤師会学術大会

演題名(必須): 健康手帳を利用した顧客の健康管理の実施

株式会社 ユタカファーマシー
嶋谷 一久 清水 一郎

本文(必須)

〔目的〕本年 4 月より特定保健健診が始まり、疾病に関しては早期発見から予防の時代になり、個人の健康管理及び健康への意識づけが更に重要になりました。そこで、ドラッグストア勤務の薬剤師として、「健康手帳」を利用して地域の顧客の健康管理をサポートする事により健康管理及び健康への意識づけが図れたので今回報告いたします。

〔方法〕「健康手帳」の利用合意を取れた当店の顧客に「健康手帳」を配布する。
「健康手帳」の内容は
医療用医薬品、一般用医薬品、サプリメント飲み合わせチェック表
メタボリックシンドローム予防の観点から、おへそ周り数値記録表、血圧チェック表・・・毎月の健康カレンダーとして健康手帳に挟み込む形式とする。
薬剤師への質問、顧客の気づいたこと等を記入する欄。

〔結果〕 3 ヶ月で約 150 名の顧客に配布。
再来局時に顧客が「健康手帳」を持参するようになった。
一般用医薬品及びサプリメント購入時に医療用医薬品との飲み合わせの質問が多くなった。
血圧、血糖値など顧客の健康に関する質問が増えた。
薬剤師に相談してから一般用医薬品を購入する顧客が増えた。

〔考察〕「健康手帳」を介することにより顧客が薬剤師に相談しやすくなり、薬剤師も「健康手帳」の記録を基に対応するため、以前より顧客の問題点をよりの確に把握し、相談にのれるようになったことは大変有意義であり、結果地域の顧客の健康管理のサポートが出来た。また、顧客より便の状態のチェック表の追加や正常値が一目で分かるように色分けして欲しいなどの要望などがあり、「健康手帳」を今後更に使い易く、見やすく改善する必要が有る。